

## 平成26年度 県立藤沢西高校不祥事ゼロプログラム検証結果

項番	目標	行動計画	検証結果
①	教育公務員としての自覚を持ち、信用失墜行為を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 不祥事に関わる新聞記事等の掲示や職員間のコミュニケーションなどとおして、不祥事防止に対する認識を深める。</li> <li>○ 「神奈川県職員行動指針」の内容を繰り返し職員に周知する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教職員の不祥事に係る新聞記事を職員室に掲示することで、教職員間における話題となり、事故・不祥事の防止意識を高めることができた。</li> <li>○ 「神奈川県職員行動指針」を全職員に配付し、公務員としての自覚を高めることができた。</li> </ul>
②	人権意識を高め、わいせつ・セクハラ行為を根絶する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 職員が校外にて受講した人権に関わる研修の内容を校内で共有し、人権感覚を磨く。</li> <li>○ 事故不祥事防止会議において、実際の事例や啓発資料を活用しながら研修し、携帯電話や電子メールを適切に使用するよう徹底する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎月事故不祥事防止会議を開催したことで、事故・不祥事防止のポイントについて学ぶことができた。</li> <li>○ 教育委員会不祥事防止職員啓発資料等を題材として携帯電話や電子メールを適切に使用するよう徹底できた。</li> </ul>
③	生徒の人権を保障し、体罰や不適切な指導を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 部活動顧問会議等において体罰防止のガイドラインや啓発資料を配付し、部活動における体罰の防止を図る。</li> <li>○ 校内相談窓口について生徒へ周知し、生徒が相談しやすい環境づくりを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ふじにし日常点検」を実施し、教職員一人ひとりが人権尊重の意識を持って行動することができた。</li> <li>○ 相談案内を全生徒に配付し、気軽に相談できる体制を整えることができた。</li> </ul>
④	厳正確実な成績処理を行うとともに、調査書、推薦書等の発行には慎重を期す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 成績処理マニュアルに基づいた確実な業務を徹底するとともに、新たな点検プログラムの開発を目指す。</li> <li>○ 調査書、推薦書の作成・取扱いの際は、学年、グループによる組織的な点検体制を強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 成績処理マニュアルについては、成績処理の時期ごとに詳細な説明書を配付して、適正・円滑な成績処理を進めた。</li> <li>○ 複数の教員による繰り返しの点検により、正確な成績処理を行った。また、新たに作成した点検シートによりミスが減らすことができた。</li> <li>○ 担任・副担任・グループによる点検により記載ミスを事前に発見できた。</li> </ul>
⑤	個人情報の取扱いには細心の注意を払い、流出や紛失を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 個人情報の校外持ち出しは極力控え、持ち出す際は、許可願の提出を徹底する。</li> <li>○ 校務用USBの使用ルールを再確認したうえで活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 個人情報の持ち出しにおいては、ルールの徹底を図り、流出、紛失を防ぐことができた。</li> <li>○ 所属のUSBを管理簿で管理し、規則に則り適切に利用することができた。</li> </ul>

⑥	交通法規の遵守や交通マナーの向上により、無事故・無違反を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続的に安全運転を職員に呼びかけ、特にスピードの出し過ぎを戒める。</li> <li>○ 深酒を避けるとともに、飲酒の予定がある当日は、自家用車での通勤は控えるよう職員に呼びかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ふじにし点検」において、自動車の運転等についても教職員それぞれが自らの行動を点検したが、わずかではあるものの不注意によるスピード超過に関しては改善の余地がある。</li> <li>○ 教育委員会の不祥事防止職員啓発資料や通知等により、継続的に注意喚起に努め、過失を負う交通事故は発生しなかった。</li> </ul>
⑦	職員の勤務実態改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 衛生委員会の開催回数を増やし、執務環境の向上への取組みを進める。</li> <li>○ 情報の共有化を図り、風通しの良い職場づくりを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 衛生委員会を通して、課題については整理し、可能なものから解決を図った。</li> <li>○ 意見交換等が十分できるよう風通しの良い職場づくりを引き続き進める。</li> </ul>
⑧	公費及び私費の会計事務をルールに沿って厳正に行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 財務事務調査指導における指摘事項を基に、事故不祥事防止会議にて研修を行う。</li> <li>○ 会計伝票等の処理、点検を厳格に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 財務事務調査の指導内容は、文書化し担当者に配布、適正な会計処理に努めた。</li> <li>○ 会計伝票等は、点検・確認を確実にを行い、ルールに基づき厳正に行うことができた。</li> </ul>
⑨	入学者選抜業務要項に沿って適正に業務を進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文書・データ等の事務処理及び管理は、常に複数の職員で厳密に行う。</li> <li>○ 学力検査・面接検査を遺漏なく遂行できるように、全職員で業務要項の読み合わせを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 要項に基づき、点検・確認は複数の職員により複数回実施し、事故防止を図ることができた。</li> <li>○ 全職員で業務要項の確認を徹底し、適正に業務を進めることができた。</li> <li>○ 事務手続きに不適切な点があり、今後改善を図る。</li> </ul>